

2013年 早大学院鉄道研究部 夏合宿旅行記

8月11日夜から15日夕方までの日程（うち11日夜は夜行列車泊）で、私たち鉄道研究部は、北陸・関西方面にて夏合宿を行いました。その模様をまとめましたのでどうぞご覧ください。

・8月11日夜～12日（東京→岐阜→高山→富山→高岡→氷見→新能町/能町→越ノ湯→高岡泊）

部員は東京・横浜・小田原のいずれかの駅からムーンライトながらに乗車。一部部員を除き岐阜まで乗車しました。岐阜からは高山本線で北上。高山本線は山地を行く路線で、渓谷の景観には迫力がありました。高山にて途中下車し飛騨高山の町並みを散策後、高山ラーメンを食べました。猪谷からは西日本区間に突入し、氷見線で氷見へ。途中の越中国分～雨晴間では、車窓から雄大な日本海を望むことができました。氷見で折り返し後、万葉線に乗り換え終点越ノ湯へ。越ノ湯では、近々橋の開通により姿を消す予定の県営無料渡し舟にも乗りました



・8月13日（高岡→自由行動→松任工場見学→兼六園見学→長町武家屋敷跡見学→金沢泊）

この日の午前中は自由行動。撮影や観光など、各々興味のある場所へ向かいました。松任駅に再度集合し、午後はJR西日本松任工場へ。個人ではなかなか訪れることはできませんが、団体として特別に見学させていただきました。かつて大糸線を走っていたキハ52のカッコよさには一同心を奪われておりました。見学に際して、部員は今まで以上に質問をしていたように思います。その後は金沢の兼六園や長町武家屋敷跡を見学し、加賀百万石の歴史を肌で感じました。夜は恒例のボーリングで大いに盛り上がりました。



・8月14日（金沢→福井→九頭竜湖→越前大野→勝山→三国港→東尋坊→福井→敦賀泊）

福井では名物かにめし弁当を購入し、越美北線の車内にて頂きました。越美北線は山岳路線で、九頭竜川が織り成す美しい田園風景にくぎ付けになりました。越前大野からえちぜん鉄道の勝山までは、一日に数本しかない連絡バスを利用し効率よく乗り継ぎました。勝山から一度福井口にて乗り換え、終点三国港へ。路線バスがなかなか来ないというトラブルもありましたが、予定通り景勝地東尋坊へ。なんとか全員無事に、海に転落することなく散策を終えることができました。夕食は敦賀で、名物B級グルメソースかつ井を食べました。



・8月15日（敦賀→東舞鶴→福知山→嵯峨野観光鉄道→梅小路蒸気機関車館にて解散）

夏合宿最終日。小浜線はトンネルが多かったのですが、その間に姿を見せる美しい日本海に歓声が上がりました。東舞鶴からは真緑の113系に乗車し福知山へ。福知山では今や貴重な国鉄色特急3本並びを撮影しました。山陰本線乗り継いで馬堀へ移動し、徒歩にてトロッコ亀山へ。山陰本線の旧線を利用した嵯峨野観光鉄道に乗車しました。車窓からは保津峡の渓谷美を楽しめるばかりでなく、秘境駅で名高い新線の保津峡駅を見ることができました。旅の締めは、梅小路蒸気機関車館。扇形車庫にはたくさんのSLが展示されていました。動態保存のSLスチーム号に乗車し、転車台を用いた方向転換を見た後、流れ解散となりました。



2015年春の北陸新幹線開業により北陸は生まれ変わることでしょう。しかし同時に、並行在来線の第三セクター化により北陸が持つ本来の魅力が失われてしまわないか心配です。その前に一度鉄研で訪問できて本当に良かったです。

このように、鉄道研究部では毎年春と夏に合宿を行っています。車両センターの見学や本数の少ない路線に乗車できるのは団体である鉄研でしかできないことであり、また、集団で旅行することにより楽しさや思い出が倍増することでしょう。私たち鉄道研究部では、「鉄研でしかできないこと」「鉄研だから楽しめること」を常に意識しつつ、これからも活動してまいります。